

科 目 名	肢体不自由者の心理・生理・病理(介護福祉コース)					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	利 光 恵・井 上 俊 孝						
開 講 年 次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修（介護）
授業の概要 及びねらい	障害のある人の心理的、医学的側面についての基礎的知識を講義し、それらを踏まえて、家族や地域との連携・支援についても学習する。障害のある子どもや大人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮できる視点を習得することを、本授業の目的とする。						
授 業 の 到 達 目 標	障害のある人の心理的・医学的基礎知識を習得し、知識を活かして本人、及びその家族に必要な支援を考慮する力を身につけること。1. 肢体不自由者の生理的問題を理解する。2. 肢体不自由者の疾病の特徴を理解する。3. 脳性麻痺について理解する。						
学 習 方 法	(心理) 前半は講義形式による説明を行い、後半は講義の内容理解を深めるためにビデオ視聴及び実技指導を行う。(生理・病理) 講義形式						
テキスト及び参考書等	適宜資料を配付する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験						0	
小テスト等	○					20	
宿題・授業外レポート	◎				○	50	
授業態度				○		10	
受講者の発表		○		○		10	
授業への参加度				○		10	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	肢体不自由者の運動発達と認知的特性とその理解 1						
第 2 週	肢体不自由者の運動発達と認知的特性とその理解 2						
第 3 週	肢体不自由者の言語発達特性とその理解 1						
第 4 週	肢体不自由者の言語発達特性とその理解 2						
第 5 週	肢体不自由者の社会的・対人的発達特性とその理解 1						
第 6 週	肢体不自由者の社会的・対人的発達特性とその理解 2						
第 7 週	肢体不自由者の家族への心理的支援について						
第 8 週	肢体不自由者の生理（1）解剖学						
第 9 週	肢体不自由者の生理（2）運動発達						
第 10 週	肢体不自由者の病理（1）脳性麻痺の障害理解とリハビリ						
第 11 週	肢体不自由者の病理（2）脳性麻痺の外科的治療						
第 12 週	肢体不自由者の病理（3）その他の肢体不自由の種類と原因・特性						
第 13 週	肢体不自由者に対する医学的支援について（1）						
第 14 週	肢体不自由者に対する医学的支援について（2）						
第 15 週	肢体不自由者に対する心理的・医学的・福祉的連携のあり方について						
第 16 週							
備 考	○第1～7回（心理：担当は利光） ○第8～15回（生理・病理：担当は井上）授業外学習（事前学習・事後学習）をおこなうこと						